

授 業 要 綱

令和5年度 48回生



仙台市医師会看護専門学校 看護学科(看護師2年課程)

看護学科 2年課程【2学年時】

基礎分野

目的

科学的思考力を培い、コミュニケーション能力を高め、感性を磨き豊かな人間性と倫理観を養う。又人間と社会に視野を広げ生活している人間を理解する。

構成（9単位 255時間）

哲	学	1単位	30時間
情	報	1単位	30時間
文	学	1単位	30時間
臨	床	1単位	30時間
人	間	1単位	30時間
家	族	1単位	30時間
カ	ウ	1単位	15時間
教	育	1単位	30時間
英	語	1単位	30時間

科目名	担当講師	単位数	時間数	履修年次
哲学	廣瀬 覚	1単位	30時間	2年後期
科目のねらい 人間を理解する基礎的知識および科学的思考を学び、生きる支えとなる人生観の探求と倫理的な考え方のもとに社会的存在としての人間のあり方を考える。また論理的に思考する能力を養う。				
	主 な 学 習 内 容	方 法	担 当 講 師	
第1回	1. 人間とは 2. 人間と死 3. 生きることの意味 4. 自己探求 5. 人間と社会 6. 責任と自由 7. 生活と倫理 8. 論理的な思考	講義	廣瀬 覚	
第2回				
第3回				
第4回				
第5回				
第6回				
第7回				
第8回				
第9回				
第10回				
第11回				
第12回				
第13回				
第14回				
第15回	まとめ 試験			
使用テキスト	なし			
成績評価方法	筆記試験			
留意事項				

科目名	担当講師	単位数	時間数	履修年次
情報科学	福田 貴文 ・ 白取 博志	1単位	30時間	2年前期
科目のねらい 情報の処理、判断の基礎となる理論を学び、コンピュータの医療・看護への利用と情報の扱い方について理解するとともに統計学的な考え方ができる能力を養う。				
	主な学習内容	方法	担当講師	
第1回	1. 情報と情報化社会 2. 保健医療における情報	講義	福田貴文	
第2回				
第3回				
第4回				
第5回				
第6回				
第7回				
第8回	3. 情報と倫理 4. 情報処理	講義 演習	白取博志	
第9回				
第10回				
第11回				
第12回				
第13回				
第14回				
第15回				
第16回	試験			
使用テキスト	系統看護学講座 別巻 看護情報学【第3版】 医学書院			
成績評価方法	筆記試験			
留意事項				

科目名	担当講師	単位数	時間数	履修年次
文学	百井 順子	1単位	30時間	2年前期
科目のねらい 人間の喜びや悲しみ、痛み、苦悩などを文学作品の描写から学び、人間や人間の生活について考え、感性を養うとともに表現力、想像力、創造性を高める。また、文章表現の技術を磨き、文章作成能力を養う。				
	主な学習内容	方法	担当講師	
第1回	1. 文章表現から人間の心理・感情(喜び、悲しみ、苦悩)を感じ取る 2. 文章表現の基礎 3. 小論文の書き方	講義	百井 順子	
第2回				
第3回				
第4回				
第5回				
第6回				
第7回				
第8回				
第9回				
第10回				
第11回				
第12回				
第13回				
第14回				
第15回	まとめ 試験			
使用テキスト	なし			
成績評価方法	筆記試験			
留意事項				

科目名	担当講師	単位数	時間数	履修年次
教育学	水谷 修	1単位	30時間	2年前期
科目のねらい 人間の成長発達と学習、教育と社会との関連を学び、教育の本質を理解し、教育技術を患者指導、健康教育の場で応用できる能力を養う。				
	主 な 学 習 内 容	方 法	担 当 講 師	
第1回	1. 看護と教育 2. 人間の成長と教育の意義 3. リカレント教育 4. 看護職と生涯教育 5. 教育評価	講義	水谷 修	
第2回				
第3回				
第4回				
第5回				
第6回				
第7回				
第8回				
第9回				
第10回				
第11回				
第12回				
第13回				
第14回				
第15回				
第16回	試験			
使用テキスト	なし			
成績評価方法	筆記試験			
留意事項				

専 門 基 礎 分 野

目 的

准看護師課程で学んだ内容をふまえて人体を系統立てて理解し、健康・疾病・障害に関する観察力、判断力を養う。また、保健・医療・福祉にかかわる基礎的知識を修得し、教育的役割や地域における関係機関との調整等、幅広い看護活動ができる能力を養う。

構 成 (16単位 360時間)

解剖生理学Ⅰ	1単位	30時間
解剖生理学Ⅱ	1単位	30時間
生 化 学	1単位	15時間
臨床栄養学	1単位	15時間
病 理 学	1単位	15時間
微 生 物 学	1単位	15時間
疾病と治療Ⅰ	1単位	30時間
疾病と治療Ⅱ	1単位	30時間
疾病と治療Ⅲ	1単位	30時間
疾病と治療Ⅳ	1単位	15時間
疾病と治療Ⅴ	1単位	30時間
薬 理 学	1単位	30時間
社会福祉論	1単位	30時間
関係法規	1単位	15時間
公衆衛生学	1単位	15時間
保健医療論	1単位	15時間

科目名	担当講師	単位数	時間数	履修年次
関係法規	峯 明美(看護師実務経験有)	1単位	15時間	2年前期
科目のねらい 看護職に必要な関係法規の知識を修得し、医療制度の中の看護の位置づけと責任を自覚する。				
	主 な 学 習 内 容	方 法	担当講師	
第1回	1. 法規の概念 2. 健康支援と法律 3. 医療提供に関連する法律 4. 疾病予防・健康増進に関連する法律 5. 母子に関連する法律 6. 高齢者に関連する法律 7. 社会福祉および障害者に関連する法律 8. 医療保険に関連する法律 9. 医薬品・医療機器・食品に関連する法律 10. 労働に関連する法律 11. その他	講義	峯 明美	
第2回				
第3回				
第4回				
第5回				
第6回				
第7回				
第8回	試験			
使用テキスト	看護学テキスト Nice 看護関係法規 南江堂			
成績評価方法	筆記試験			
留意事項				

専 門 分 野 I

目 的

生活している人間と看護に対する理解を深め、看護倫理に基づいた看護師の役割を認識し、さらに准看護師課程で学んだ看護援助技術を、科学的根拠を明らかにして、発展・応用できる基礎を学ぶ。

構 成 (10単位 360時間)

講義

看護学概論	1単位	30時間
看護研究	1単位	30時間
基礎看護技術Ⅰ	1単位	30時間
基礎看護技術Ⅱ	1単位	30時間
基礎看護技術Ⅲ	1単位	45時間
臨床看護総論Ⅰ	1単位	30時間
臨床看護総論Ⅱ	1単位	30時間
臨床看護総論Ⅲ	1単位	45時間

臨地実習

基礎看護学実習Ⅰ	1単位	45時間
基礎看護学実習Ⅱ	1単位	45時間

科目名	担当講師	単位数	時間数	履修年次
看護研究	宮本 祐子 ・ 藤野 睦(看護師実務経験有)	1単位	30時間	2年前期
科目のねらい 研究を進めるうえで必要な基礎知識を修得し、文献検索方法や、倫理上の配慮など研究の実際を学ぶ。				
	主な学習内容	方法	担当講師	
第1回	看護実践と研究 1. 看護における研究の意味 2. 看護研究の歴史	講義	宮本祐子	
第2回	研究の進め方 1. 研究テーマ 2. 文献検索			
第3回	3. データの収集方法・分析 4. 研究と倫理 研究デザイン 1. 実験型研究 2. 非実験型研究			
第4回	ケーススタディとその実際	講義 演習	藤野 睦	
第5回	1. ケーススタディの意義			
第6回	2. ケーススタディにおける倫理的配慮			
第7回	3. ケーススタディの構成と各段階の要点			
第8回	4. 演習 ケーススタディ評価			
第9回	5. ケーススタディ作成			
第10回	6. ケーススタディ発表			
第11回				
第12回				
第13回				
第14回				
第15回				
第16回	試験			
使用テキスト	新体系看護学全書 別 巻 看護管理 看護研究 看護制度 メヂカルフレンド社 看護のためのわかりやすいケーススタディの進め方 照林社			
成績評価方法	筆記試験 ケーススタディの評価			
留意事項				

科目名	担当講師	単位数	時間数	履修年次
基礎看護学実習Ⅱ	藤野睦・遠藤和枝・佐藤真理 穴戸夕美・下山美由紀 伊早坂厚子・松田美由紀 (看護師実務経験有)	1単位	45時間	2年前期
<p>目的 対象を総合的に把握し、問題を解決するための看護を科学的根拠に基づき、安全・安楽に実施する。</p> <p>目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 対象を総合的に把握し、看護上の問題点を明確にできる。 2. 対象の個別性を踏まえた援助を根拠に基づき、安全に実施できる。 3. 実施した看護を評価し、計画の修正・変更ができる。 4. 看護過程の各段階を評価し、自己の課題を明確にできる。 <p>展開</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 受持患者を選定し、看護を実践する。 2. 実践した看護を評価し、学習課題を明確にする。 				
成績評価方法	実習評価表に基づいて評価する			
留意事項				

専 門 分 野 Ⅱ

成人看護学

目 的

成人期にある対象の特徴を理解し、健康の保持増進及び疾病予防のために、健康上の諸問題を総合的にとらえ、看護実践できる能力を養う。

構 成 (7 単 位 240 時間)

講義

成人看護学概論	1 単位	30 時間
成人看護学Ⅰ	1 単位	30 時間
成人看護学Ⅱ	1 単位	30 時間
成人看護学Ⅲ	1 単位	30 時間
成人看護学Ⅳ	1 単位	30 時間

臨地実習

成人看護学実習	2 単位	90 時間
---------	------	-------

科目名	担当講師	単位数	時間数	履修年次
科目名	担当講師	単位数	時間数	履修年次
成人看護学実習	伊早坂厚子・藤野睦 (看護師実務経験有)	2単位	90時間	2年
<p>目的 成人期にある対象の健康問題の解決に必要な看護を見出し、実践できる能力を養う。</p> <p>目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 身体的・精神的・社会的に統合された存在として、成人期にある対象を理解できる。 2. 対象の疾病の病態生理・治療内容が理解できる。 3. 対象の全体像を捉え、健康問題に対して安全・安楽に配慮した援助を実践できる。 4. 対象またはその家族に対して、社会復帰に向けた援助を実践できる。 5. 保健医療チームの一員であることを自覚し、看護者の役割を考えることができる。 <p>展開</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 受持看護実習を 2 週間行う。 2. 集中治療を必要とする患者の看護を(ICU 実習)を 1 週間行う。 				
成績評価方法	実習評価表に基づいて評価する			
留意事項				

老年看護学

目 的

老年期にある対象を理解し、健康の保持増進、疾病の予防のための支援方法および老化および健康障害による問題を把握し、高齢者とその家族に対する QOL を高める看護ができる能力を養う。

構 成 (5 単位 150 時間)

講義

老年看護学概論	1 単位	15 時間
老年看護学 I	1 単位	15 時間
老年看護学 II	1 単位	30 時間

臨地実習

老年看護学実習	2 単位	90 時間
---------	------	-------

科目名	担当講師	単位数	時間数	履修年次
老年看護学実習	遠藤和枝・佐藤真理 (看護師実務経験有)	2単位	90時間	2年
<p>目的 老年期にある対象の特徴を理解し、健康の段階に応じた問題を捉え、対象と家族に対しQOLを考えた看護が実践できる能力を養う。</p> <p>目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 老年期の対象を全人的に理解する 2. 加齢や疾病によって引き起こされる健康問題が、老年期における生活や生命にどのような影響をもたらしているかを理解し、必要な看護を考えることができる。 3. 対象とその家族に対し安全・安楽に配慮した看護が実践できる。 4. 対象が希望する生活へのトータルケアとチーム医療の必要性を理解する。 5. 対象やその家族に対し生きてきた過程を理解し、自尊心への配慮と尊重した態度で援助する。 <p>展開</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 受け持ち実習を 2 週間行う。 2. 介護老人保健施設での実習を 3 日間行う。 				
成績評価方法	実習評価表に基づいて評価する			
留意事項				

小児看護学

目 的

小児各期の特徴を理解し、子どもの権利を尊重した健全な成長発達・生活習慣形成への支援と共に、疾病の予防と健康の回復のために子どもとその家族に必要な看護が実践できる能力を養う。

構 成（5 単位 150 時間）

講義

小児看護学概論	1 単位	15 時間
小児看護学 I	1 単位	30 時間
小児看護学 II	1 単位	15 時間

臨地実習

小児看護学実習	2 単位	90 時間
---------	------	-------

科目名	担当講師	単位数	時間数	履修年次
小児看護学実習	松屋睦子・松田美由紀 (看護師実務経験有)	2単位	90時間	2年
<p>目的 子どもの特徴を理解し、健康の各段階にある子どもとその家族の安全・安楽を考えた看護が実践できる能力を養う。</p> <p>目標 1. 子どもの成長発達段階を理解し、その状態に応じた日常生活習慣の自立に向けた援助ができる。 2. 子どもの権利を尊重し、安全・安楽に配慮した援助ができる。 3. 健康問題や障害のある子どもを持つ家族の問題解決に向けた援助が理解できる。 4. 子どもと家族を取り巻く保健・医療・福祉・教育の連携を学び、小児看護の役割が理解できる。</p> <p>展開 1. 保育所実習を通して健康な子どもの成長発達段階の理解 2. 外来実習を通して健康診査や予防接種・一般診察を受ける子どもの看護の理解 3. 病棟実習を通して健康障害を受けた子どもと家族への看護の実践 4. 施設見学実習を通して健康障害を受けた子どもの医療、看護、福祉、教育との連携の理解</p>				
成績評価方法	実習評価表に基づいて評価する			
留意事項				

母性看護学

目 的

ひとつのもつ種族保存の働き（生殖）とその意義を理解し、健全な種族保存の機能が営めるように母性の一生を通じた健康の維持・増進、疾病の予防など、母性保健活動における看護の役割を理解し、妊・産・褥婦および新生児の看護について学ぶ。

構 成（6単位 180時間）

講義

母性看護学概論	1単位	15時間
母性看護学Ⅰ	1単位	30時間
母性看護学Ⅱ	1単位	15時間
母性看護学Ⅲ	1単位	30時間

臨地実習

母性看護学実習	2単位	90時間
---------	-----	------

科目名	担当講師	単位数	時間数	履修年次
母性看護学実習	宍戸夕美・松田美由紀 (看護師・助産師実務経験有)	2単位	90時間	2年
<p>目的 女性のライフサイクルの中で周産期にある対象の特徴と家族の役割を理解し、良好な母子関係を築くための支援ができる基礎的能力を養う。</p> <p>目標 1. 妊娠・分娩・産褥の正常経過が理解できる。 2. 妊婦・産婦・褥婦の母親役割獲得への支援方法が理解できる。 3. 新生児の胎外生活への適応過程が理解できる。 4. 女性のライフサイクルにあわせた支援方法を考えることができる。</p> <p>展開 1. 対象別看護実習を2週間行う。 2. 褥婦と新生児の受け持ち実習を1週間行う。</p>				
成績評価方法	実習評価表に基づいて評価する			
留意事項				

精神看護学

目 的

すべてのライフサイクルにある人々の精神の健康の保健増進と、心のバランスをくずしている人々や精神障害者とその家族に対する援助について学ぶ。

構 成 (5 単位 150 時間)

講義

精神看護学概論	1 単位	15 時間
精神看護学 I	1 単位	15 時間
精神看護学 II	1 単位	30 時間

臨地実習

精神看護学実習	2 単位	90 時間
---------	------	-------

科目名	担当講師	単位数	時間数	履修年次
精神看護学実習	佐藤真理・藤野睦 (看護師実務経験有)	2単位	90時間	2年
<p>目的 精神に障害を持つ対象を理解し、精神の健康回復を促すための支援ができる基礎的能力を養う。</p> <p>目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 精神障害のある対象が安全で安心できる生活の場、および治療の場としての療養環境が整えられていることが理解できる。 2. 患者とのコミュニケーションの体験を通じ患者—看護師関係成立過程を学ぶ。 3. 精神症状による行動障害を捉え、対象の回復過程に応じた支援を考えることができる。 4. 対象の実現したい生き方や希望を尊重し、リハビリに向けた多職種チーム内での看護師の役割を理解できる。 <p>展開</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 受持実習を2週間行う。 2. 訪問看護実習を2日間行う。 3. 就労移行支援事業所見学実習を1日間行う。 				
成績評価方法	実習評価表に基づいて評価する			
留意事項				

統合分野

在宅看護論

目的

地域で生活しながら療養する人々とその家族を理解し、在宅看護の意義や役割・機能を考え、在宅看護の展開方法とその技術を学ぶ。また在宅で療養する人々とその家族の健康生活を支援する地域の保健・医療・福祉システムや、関連職種との連携・協働について学び、在宅看護の基礎を理解する。

構成（5単位 180時間）

講義

在宅看護概論	1単位	30時間
在宅看護論Ⅰ	1単位	30時間
在宅看護論Ⅱ	1単位	30時間

臨地実習

在宅看護論実習	2単位	90時間
---------	-----	------

科目名	担当講師	単位数	時間数	履修年次
在宅看護論実習	下山美由紀・佐藤真理 (看護師実務経験有)	2単位	90時間	2年
<p>目的 地域で療養している対象とその家族を理解し、対象の QOL が維持・向上する看護が実践できる基礎的能力を養う。</p> <p>目標 1. 在宅で療養する対象とその家族を理解し、その人らしさを大切にした看護が実践できる。 2. 在宅療養を支える保健・医療・福祉サービスの連携・協働について理解できる。 3. 地域包括ケアシステムにおける地域住民の健康の保持・増進、介護予防のための看護が理解できる。</p> <p>展開 訪問看護ステーション。健康教室・サロン等実習・市町村保健センターにおける実習を行う。</p>				
成績評価方法	実習評価表に基づいて評価する			
留意事項				

看護の統合と実践

目 的

看護に求められている社会的ニーズを理解し、個人と集団と社会に対し、適切な看護を提供できるように、既習学習の知識と技術を統合して、実践できる能力を養う。

構 成（7単位 165時間）

講義

看護管理	1単位	15時間
医療安全	1単位	15時間
災害看護学	1単位	15時間
国際看護学	1単位	15時間
看護の統合と実践	1単位	15時間

臨地実習

統合実習	2単位	90時間
------	-----	------

科目名	担当講師	単位数	時間数	履修年次
看護管理	鈴木 郁子	1単位	15時間	2年前期
科目のねらい チーム医療・看護ケアにおける看護師としてのリーダーシップ及びマネジメントができる基礎的能力を養う。				
	主な学習内容	方法	担当講師	
第1回	看護管理とは 1. 看護管理とは 2. マネジメントとは 看護におけるマネジメント 1. 看護におけるマネジメント ケアのマネジメント 1. ケアのマネジメント 看護制度 1. 保健師助産師看護師法 2. 看護行政と看護活動 3. 看護師の養成	講義	鈴木郁子	
第2回				
第3回				
第4回				
第5回				
第6回				
第7回				
第8回				
使用テキスト	看護学テキスト NICE 看護管理学【改訂第3版】 南江堂			
成績評価方法	筆記試験			
留意事項				

科目名	担当講師	単位数	時間数	履修年次
医療安全	菊池ひで子	1単位	15時間	2年前期
科目のねらい 医療における安全管理の基本を理解し、危険予知、回避できる判断能力、チームとして行動できる基礎的能力を養う。				
	主な学習内容	方法	担当講師	
第1回	事故防止の考え方 1. 医療安全を学ぶ意義 2. 医療事故と看護業務 3. 看護事故の構造 4. 看護事故防止の考え方 看護業務における事故防止 1. 診療の補助の事故防止 2. 療養上の世話の事故防止 3. 業務領域をこえて共通する間違いと発生要因 医療安全とコミュニケーション 1. 医療職間のコミュニケーション 2. 患者とのコミュニケーション 医療安全対策 1. 組織としての医療安全対策 2. 国の医療安全対策	講義	菊池ひで子	
第2回				
第3回				
第4回				
第5回				
第6回				
第7回				
第8回				
使用テキスト	系統看護学講座 統合分野 医療安全 看護の統合と実践②【第4版】 医学書院			
成績評価方法	筆記試験			
留意事項				

科目名	担当講師	単位数	時間数	履修年次			
災害看護	菅原清香・齋藤 真	1単位	15時間	2年後期			
科目のねらい 災害時の対応方法の基礎を理解し、社会における看護の役割を果たすために必要な災害各期の看護活動について理解する。							
	主な学習内容	方法	担当講師				
第1回	災害とは 1. 災害の定義 2. 災害の種類および被害・疾患の特徴 3. 災害サイクル 4. 災害時要支援者への対応	講義	菅原 清香 齋藤 真				
第2回	災害医療に関する法律と政策 1. 災害時の情報収集と伝達 2. 災害医療に関する法律問題 3. 災害医療に関する国の政策 4. 他職種との連携支援システム						
第3回	災害時の看護活動 1. 移動時(超急性期・急性期)における看護活動 2. 医療救護所における看護活動						
第4回	3. 避難所における看護活動 4. 仮設住宅における看護活動						
第5回	5. 在宅における看護活動 6. 復興住宅における看護活動 7. 被災者の心理・支援者の心理の理解と援助 8. 感染症に対する健康危機管理						
第6回	減災・防災マネジメント 1. 災害に備えたマネジメント 2. 建物および人的マネジメント						
第7回	災害時に必要な看護技術 1. トリアージ 2. 応急処置・搬送技術				演習	齋藤 真	
第8回	試験						
使用テキスト	ナーシンググラフィカ 看護の統合と実践③ 災害看護【第5版】 メディカ出版						
成績評価方法	筆記試験						
留意事項							

科目名	担当講師	単位数	時間数	履修年次
国際看護学	宮本 祐子	1単位	15時間	2年後期
科目のねらい 世界の健康問題や海外における看護活動について学び、国際的な視野で看護活動を考える基礎を学ぶ。				
	主な学習内容	方法	担当講師	
第1回	国際看護の概念 1. 国際看護とは	講義	宮本 祐子	
第2回	2. 国際看護の必要性 3. 国際交流と国際協力 4. 国際協力の意義 5. 国際看護の方向性と課題			
第3回	国際看護活動の実際 1. 日本における歴史			
第4回	2. 政府機関・非政府機関 3. 国際機関による派遣			
第5回	4. 看護職による国際協力の実際 5. 異文化理解と国際看護活動 6. 緊急援助における看護			
第6回	世界の健康問題 1. 開発途上国の人口問題 2. 世界規模の健康問題			
第7回	保健医療の現状と対策 1. 疾病の動向・予防接種 2. 各国の保険医療活動と対策			
第8回	試験			
使用テキスト	新体系看護学全書 看護の渡欧豪と実践③ 国際看護学【第2版】		メヂカルフレンド社	
成績評価方法	筆記試験			
留意事項				

科目名	担当講師	単位数	時間数	履修年次
看護の統合と実践	松田美由紀・藤野睦・遠藤和枝 佐藤真理・穴戸夕美 下山美由紀・伊早坂厚子 (看護師実務経験有)	1単位	15時間	2年前期
科目のねらい 既習の知識・技術を統合し、複数事例を通して看護をマネジメントし、対象の状態に応じた看護が実践できる能力を身につける。				
	主な学習内容	方法	担当講師	
第1回	業務遂行のためのマネジメント 1. 一日の業務の組み立て 2. 多重課題への対応	講義 演習	松田美由紀 藤野睦 遠藤和枝 佐藤真理 穴戸夕美 下山美由紀 伊早坂厚子	
第2回	複数の患者の計画立案 1. 二事例の情報収集			
第3回	2. 二事例の看護計画立案 3. タイムスケジュールの作成			
第4回	多重課題への対応 1. 割り込み課題			
第5回	2. タイムプレッシャー 3. 計画の修正・変更			
第6回	グループワーク・発表・評価			
第7回	1. 計画実施の評価 2. 割り込み対処の評価・修正			
第8回	試験			
使用テキスト	なし			
成績評価方法	筆記試験、レポート評価			
留意事項				

科目名	担当講師	単位数	時間数	履修年次
統合実習	松田美由紀・藤野睦・遠藤和枝 佐藤真理・穴戸夕美 下山美由紀・伊早坂厚子 (看護師実務経験有)	2単位	90時間	2年後期
<p>目的</p> <p>看護の役割と機能を、看護チームの一員としての体験から学ぶ。 また複数の患者の受持ちを通して知識・技術・態度を統合した看護実践能力を身につける。</p> <p>目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護管理の実際を知ることができる。 2. 保健・医療・福祉チームの一員として連携・協働する看護の役割と機能の理解を深める。 3. 複数の患者に対して優先順位とタイムスケジュールを考えた看護を安全・安楽に実施する。 4. 看護チームの中のリーダーシップ・メンバーシップを理解する。 <p>展開</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護師長から看護管理、病棟管理の実際の説明を受ける。 2. リーダー・メンバーにシャドーイングし、その役割と安全な援助の実践方法を考える。 3. 学生でチームをつくり、複数患者の看護を展開する。 				
成績評価方法	実習評価表に基づいて評価する			
留意事項				